



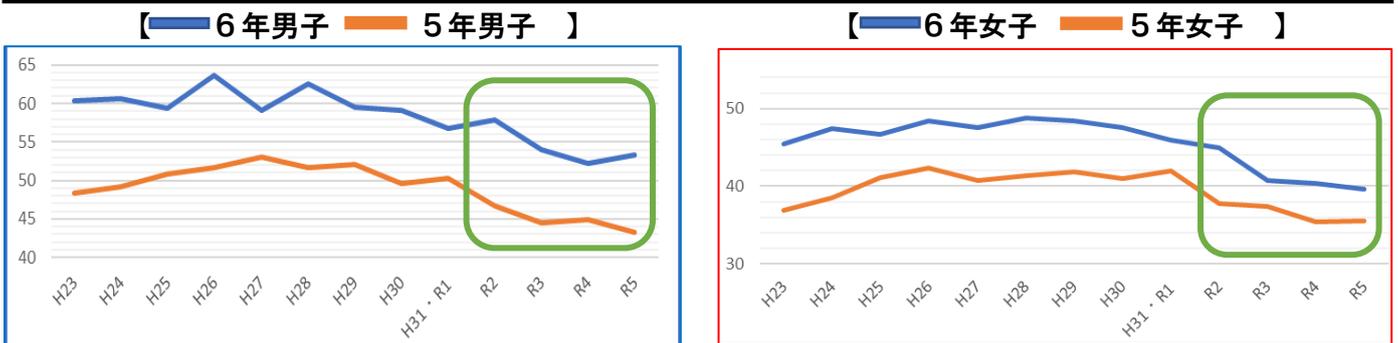
# ボール投げ記録向上！持久力は課題継続

## ①磐周ボール投げ記録比較 ※赤は前年度より上昇した数値 青は前年度より低下した数値、または同じ数値

【男子】							【女子】						
	6年	5年	4年	3年	2年	1年		6年	5年	4年	3年	2年	1年
H29	24.3	21.9	18.6	15.5	12.2	9.21	H29	16.1	14.4	11.9	10.1	8.16	6.32
H30	24.3	21.0	18.0	15.0	12.0	8.93	H30	15.4	13.4	11.8	10.1	7.85	6.2
H31R1	24.2	20.8	17.6	14.8	11.9	8.85	H31R1	15.6	13.5	11.8	9.76	8	6.08
R2	23.4	19.8	17.2	14.3	11.5	8.67	R2	15.2	13.6	11.5	9.78	7.89	6.16
R3	22.9	19.8	17.2	14.2	11.3	8.57	R3	15.1	13.3	11.8	9.68	7.87	5.91
R4	22.8	19.4	16.9	13.7	11.1	8.5	R4	14.9	13.4	11.4	9.39	7.67	5.99
R5	23.0	19.8	17.1	14.4	11.3	8.61	R5	15.0	13.6	11.7	9.57	7.61	5.8

【考察】 結果	要因	今後の取り組み
○前年度と比べて、男子は <b>全ての学年で記録が向上</b> ○女子も <b>4つの学年の記録が向上</b> ○同一集団の記録の伸びも大きくなっている学年もある。 △記録の向上は見られるが、H29の記録と比べると <b>依然低い数値</b> であることは課題	・過去2年間ボール投げを課題として取り上げてきた Athlete を各校で活用したこと。 ・小体連主催の実技研修を通して投力向上につながる運動を学び、校内に周知したこと。	・体育主任を中心として、 <b>調査結果をもとに各校の課題を明確にし</b> 、継続的な指導を続けていく必要がある。 ・体力テストのときだけ指導を行うのではなく、 <b>各単元とのつながりを意識した指導</b> を行うことが必要である。

## ②シャトルラン記録比較



【考察】 結果	要因	今後の取り組み
○前年度に比べて、男子は6年の記録上昇。 ○女子も5年の記録上昇。 △記録の上昇は見られるが、 <b>依然低い数値</b> であることは課題。 ※グラフにはないが、男子1・4年生、女子1年生の記録も向上した。	・Athlete を活用して、正しい測定方法を職員間で共有できたこと。 ・運動することを習慣化できるような取り組みを学校独自に行っていること。(裏面参考例) ・令和2年度からの記録の低下は、コロナ禍の行動制限により、運動する機会が減少したものと推察される。	・体育授業で意識的に <b>運動量を増やしていく</b> 必要がある。 ・体力テストの数値が高かった学校の取り組みを参考に、 <b>各校で児童が主体的に運動に取り組める環境</b> を整える。 ・今後、コロナ禍以前の記録に近づけていくためにも、 <b>日常の運動の積み重ね</b> が大事になる。